



# 円勝会便り

## 10月号

配信：社会福祉法人 円勝会

TEL：0791-63-3053

HP：<https://enshoukai.com>

空が澄み清々しい秋を感じる頃となり、朝晩はだいぶ涼しく感じられるようになりました。秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…などとも言われますが、みなさんどんな秋をお過ごしでしょうか？

秋は、米（新米）、マツタケやシメジなどのキノコ類、柿やクリなどのフルーツ類など、多くの旬の物があります。食欲の秋に旬を迎える意外な食べ物としては、「土用の丑の日」のイメージが強いので、夏に旬を迎えると思われがちですが、天然鰻の旬は、実は秋～冬になります。

夏の疲れを癒すためにも、旬の時期に鰻を食べてみてはいかがでしょうか？

今月は、日本の重大な問題として取り上げられている、少子高齢化問題の現状や問題点について解説したいと思います。

## 少子高齢化とは

少子高齢化は、少子化と高齢化を合わせて作られた言葉で、「子どもが減少し（少子化）、高齢者が増加（高齢化）する社会」を示します。

少子化は合計特殊出生率という数字を割り出すことで導かれます。この合計特殊出生率とは女性が一生の間に生む子どもの数を指し、この合計特殊出生率が人口維持に必要な水準（日本では2.08前後）を長い期間下回ると「少子化」と呼ばれる状態になります。

ちなみに2023年の日本の合計特殊出生率は1.20となっていて、7年連続で前の年を下回っており、人口維持に必要な水準を大きく下回っています。つまり維持できないので総人口が減少してしまいます。

一方で「高齢化」は65歳以上が社会の何割を占めているのかで高齢化を計ります。全体の7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢社会とされ、2023年10月現在の日本の高齢化率は29.1%なので超高齢社会となります。

## 少子高齢化がもたらす日本の未来

少子高齢化の加速により、総人口は2056年には1億人を割って9,965万人となり、2070年には8,700万人になると予測されています。

年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の年齢3区分別の人口規模及び構成の推移をみると、年少人口は、2053年には1,000万人を割り、2070年には797万人と、これは令和4年の約55%になると推計されています。

また生産年齢人口は、2032年に6,971万人と7,000万人を割り、2070年には4,535万人となると推計されています。

65歳以上人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった2015年に3,379万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には3,653万人に達すると見込まれています。その後も65歳以上人口は増加傾向が続き、2043年に3,953万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

★年少人口…15歳未満の人口。

★生産年齢人口…生産活動の中核をなす年齢の人口層を指し、日本では15歳以上65歳未満の人口がこれに該当します。

★高齢者人口…65歳以上の人口。



## 少子高齢化により考えられる影響

### ○医療費

社会保障費は国民の所得税などの税金で賄われています。しかし、少子高齢化が進むと労働者不足が考えられ、所得税などの税金の納税額も減少することが考えられます。これにより、医療費などの自己負担の見直しを考えないといけないことにもなりかねません。

### ○年金制度

納税額が減少し社会保障費がどんどん減る中、人口の高齢化により介護費用などはどんどん増えていきます。少なくなる社会保障費は、まずは介護費などで受給されることを考えると、年金制度の維持が危惧されています。

### ○労働

少子高齢化により働き手である若年層が少なくなることにより労働者の個人負担も大きくなると共に、定年が延長されることが考えられます。

また、年金水準が低下すれば収入が少なくなり生活が厳しくなるため、長く働ける条件整備が求められることとなります。

### ○経済成長率

少子高齢化により労働力が低下することで経済成長の減速につながる恐れがあり、日本の経済が世界に比べて衰えることも考えられます。

### ○介護人材

高齢化により介護が必要な方が増える一方で、少子高齢化により介護に携わる者が足りなくなり介護不足が懸念されます。

介護は社会にとってなくてはならない仕事「エッセンシャルワーク」です。家族の介護負担軽減や介護難民の増加を防ぐためにも、介護の仕事に従事する方が増えていくことが望まれています。

### ○医療過疎

医療を必要とする高齢者が増える中、少子化により医者のなり手が少なくなり医師が不足します。特に人口が少ない地方では、医師がいなくなり十分な医療を受けることが難しくなる恐れがあります。



## 少子高齢化に対して私たちが今できること

日本は今、少子高齢化によって人口減少と将来の経済や社会の担い手の減少、社会保障制度の持続など様々な問題に直面しています。

いろいろと施策されていますが決定的な解決策はなく、このまま進行して行けば、日本社会を維持していくことが難しい局面を迎えるかもしれません。

このような日本の危機的状況を変えるためには、政府や関連機関、企業はもちろんのこと、日本に住む私たちも一丸となって問題に取り組む必要があります。

そのためにはまず少子高齢化問題の現状や課題を知ることから始めていくことが大切です。現状や課題を知ることによって、より効果的な対策が見つかるかもしれません。



# "Topic"



## 9月 ドリーム甲子園伊丹事業所にて

園芸療法を行なっている畑で収穫した玉ねぎを使って、みんなで好み焼きを作りました。

玉ねぎの甘みがソースにマッチしていて、美味しくいただくことができました。



## 9月 西はりまリハビリテーションセンターにて

関西福祉大学から2名、龍野北高等学校から2名の方が実習に来られました。

同校の卒業生が当法人では多く働かれており、この実習を通じて福祉の仕事や当法人の魅力を感じていただき、将来一緒に仕事ができればうれしく思います。



## 9月10・11日 ドリーム甲子園一泊旅行

生活介護のご利用者が、兵庫県豊岡市に一泊二日で旅行に行かれました。一日目は城崎マリンワールド、二日目はコウノトリの郷公園に行き、お昼は出石そばをいただきました。



## 9月16日 第2シルバーコースト甲子園にて

敬老会を開催し、入居者の皆さんに施設長からメッセージカードと記念品をお渡しし、紅白饅頭を食べてお祝いしました。

施設の最高齢の方は108歳になられ、毎日元気に過ごされています。

### 【問い合わせ先】

社会福祉法人円勝会 法人本部

〒679-4132 兵庫県たつの市誉田町福田 780-3

TEL:0791-63-3053 FAX:0791-63-3053

■E-mail : [saiyou@enshoukai.com](mailto:saiyou@enshoukai.com) 担当：財津 前田

